

快適に使用していただくために

取扱説明書




オーバードアS —直昇手動タイプ—

もくじ

1.安全のために必ず守ってください	1
2.各部の名称	3
3.使用方法	4
3-1扉の開け方、閉め方	4
3-2ロックツマミの使い方	5
3-3ご注意とお願い	5
4.お手入れについて	6
5.修理について	6
6.別売り品	6

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

- 製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

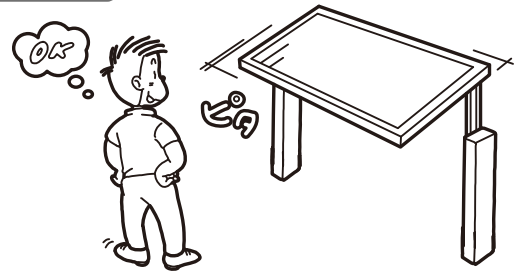
1 安全のために必ず守ってください

警告



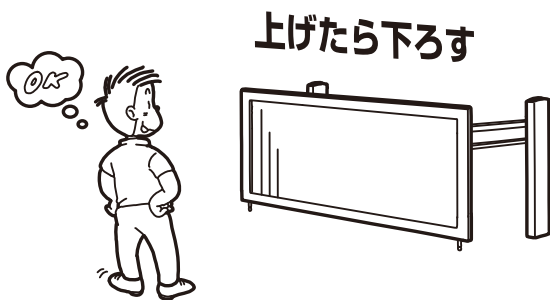
- 扉本体やアームを取り外すなどして、ご自分で修理や改造をしないでください。重量バランスが崩れた場合はアームなどが急に跳ね上がり、ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



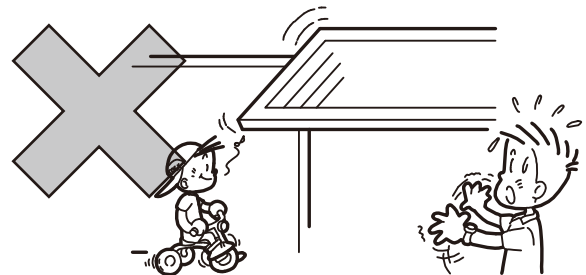
- 扉の動きが止まったことを確認してから、人や車の出入りを行ってください。扉を完全に上げずに入ったりすると扉が戻ったり、落下してケガをしたり、車をキズつけたり、重大な事故につながるおそれがあります。完全に上がっていることを十分にご確認ください。

警告



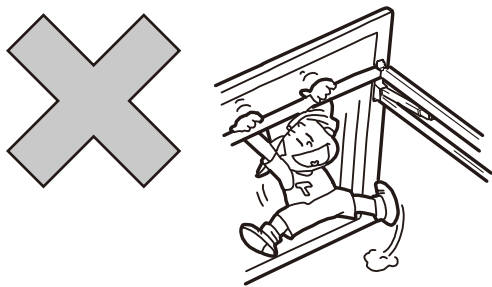
- ご使用に際しては、上げたまま放置せず、必ず1回毎に扉を下におろしてください。強風時や降雪時など、扉が落下してケガをしたり、破損や故障の原因になるおそれがあります。

警告



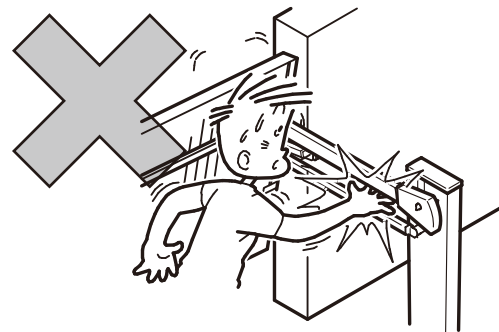
- 扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。とくに、小さいお子様には十分注意して、お子様がいる場合には操作しないでください。思わぬケガをしたり、重大な事故につながる可能性があります。また、本体の故障の原因になります。

警告



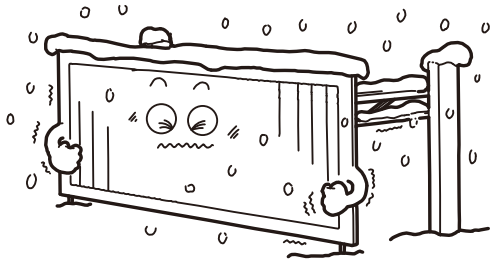
- 扉やアーム、アーム連結棒にぶらさがったり、乗ったりしないでください。特に小さいお子様に十分ご注意ください。思わぬケガをしたり、重大な事故につながる可能性があります。また、部品などの破損や故障の原因になるおそれもあります。

警告



- 扉が開閉しているとき、回転軸や動く部分に手や指などをはさまれないように注意してください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。

警告



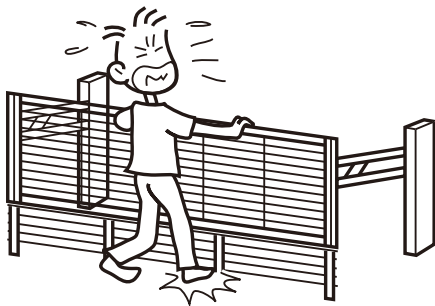
- 降雪時は扉とアームに積もった雪を取り除いてから動かしてください。重みで上がらなかったり、扉が戻ったり、落下してケガをしたり、車をキズつけることがあります。また、破損や故障の原因になります。

警告



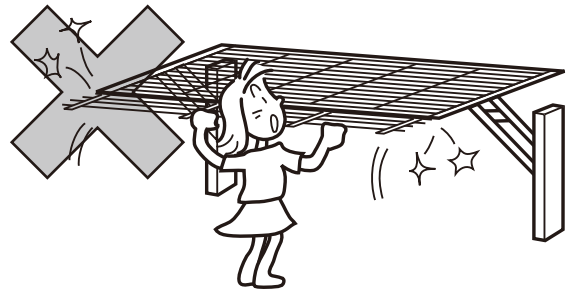
- 扉の開閉は、静かに行なってください。勢いよく跳ね上げたり、おろしたりすると駆動部などを破損やケガをするおそれがあります。

注意



- 扉の開閉時には足元に注意してください。地面とペットガードまたは接地ストッパーの間に足をはさみ、ケガをするおそれがあります。または、ペットガードや接地ストッパーが扉より前方にはみ出し、体にあたるおそれがあります。

注意



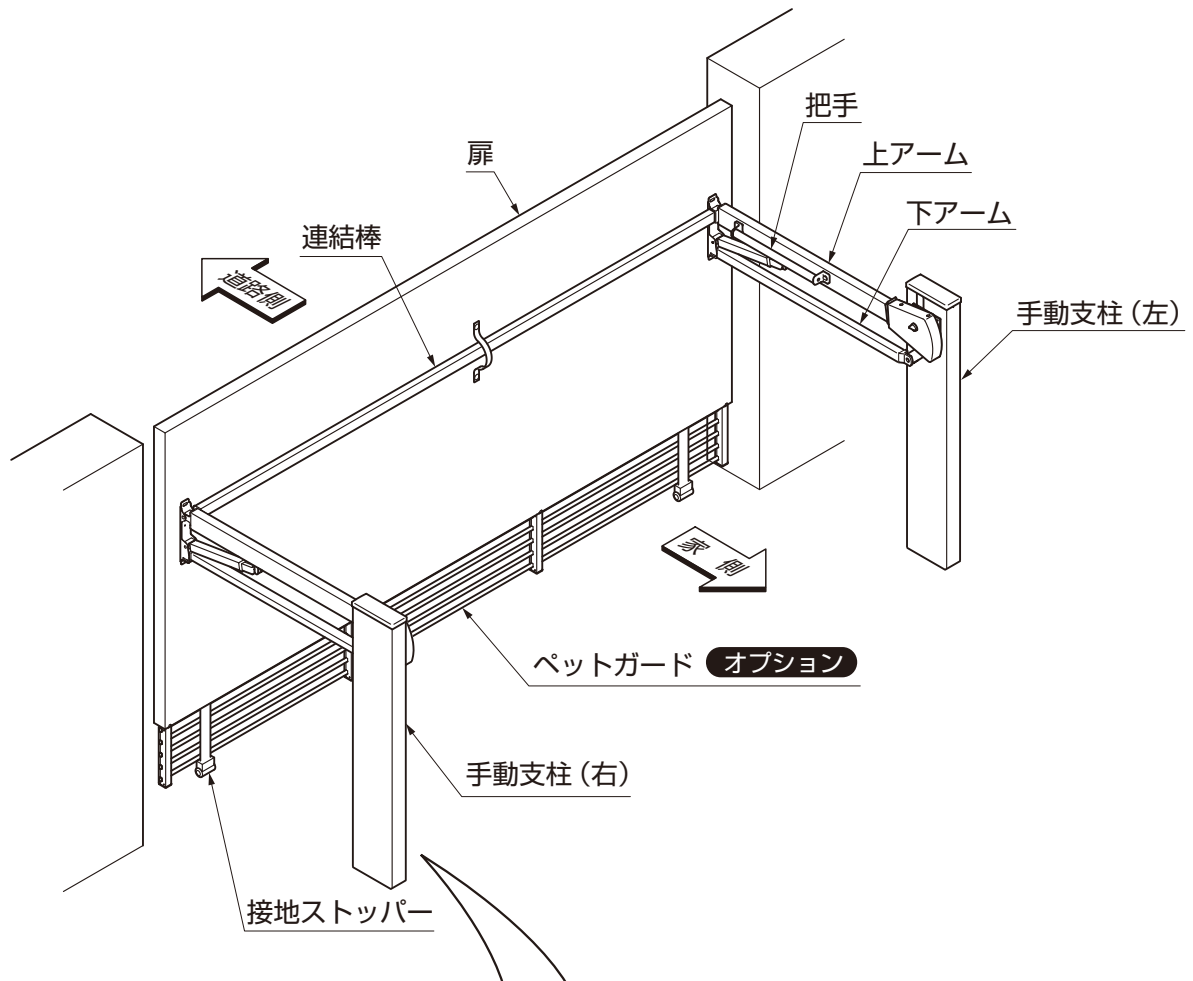
- 扉の開閉時にはペットガードを持たないでください。扉の開閉は扉または把手を持って開閉してください。扉本体とペットガードのヒビ・破損の原因になるおそれがあります。またネジがゆるんでいると、ペットガードががたついて危険です。

2 各部の名称

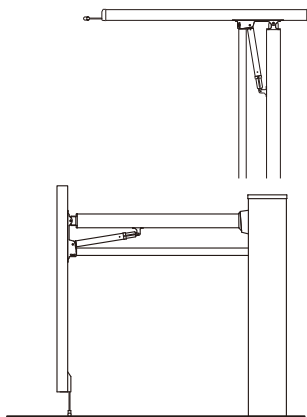
補足

●門扉サイズ、種類により外観は多少異なります。

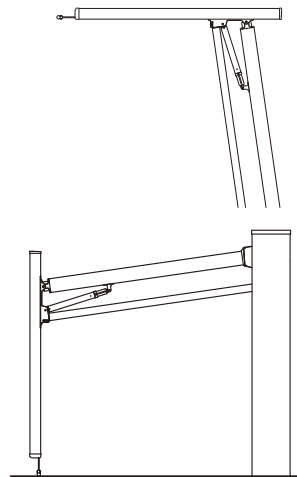
(1) オーバードアS ※図はオーバードアS W27型を示します。



標準



ハイルーフ

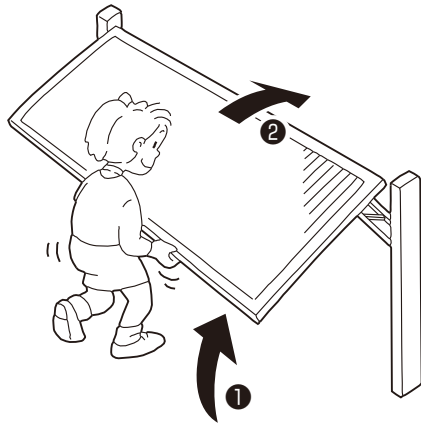


※ハイルーフのアームは垂直になりません。

3 使用方法

3-1 扉の開け方、閉め方

(1) 開け方



①扉の中心を持ち、腰の位置まで上げて跳ね上げるようにして開けます。

補足

- 柱内部のショックアブソーバーにより衝撃を吸収して停止します。

お願い

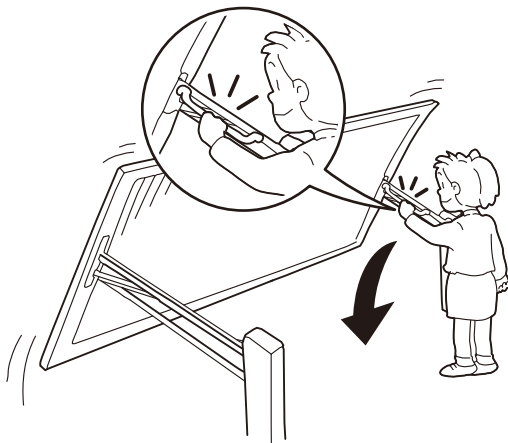
- ペットガードを使用している場合、開閉の際にペットガードを持たないでください。

警告

- 扉が完全にあがりきったのを必ず確認してから、人や車の出入りをしてください。
扉が戻ったり、落下してケガをしたり、車をキズつけることがあります。

(2) 閉め方

把手で閉める場合

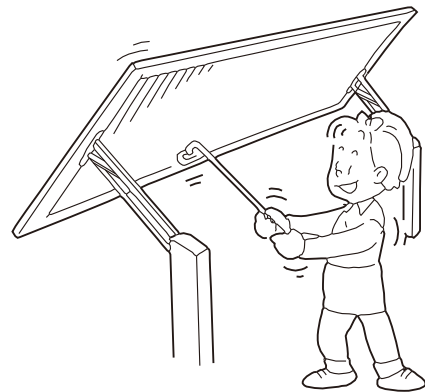


①アームに取付けてある把手を持ち、ゆっくりと扉を下げ、扉に手が届くようになったら扉を持ちゆっくりと全閉します。

警告

- 扉の開閉時には、扉・アームにはさまれないようにしてください。ケガをするおそれがあります。
- 扉は開けたまま放置せず、使用後は必ずおろしてください。強風時や降雪時など、扉が落下してケガをしたり、破損や故障の原因になるおそれがあります。

フック棒 オプション で閉める場合



①フック棒 **オプション** を把手に引っ掛け、ゆっくりと扉を下げます。

お願い

- 扉が完全に下がりきったのを必ず確認してください。
- ペットガードを使用している場合、ペットガードにフック棒を引っ掛けしないでください。

補足

- 柱内部のショックアブソーバーはオイルダンパーを使用していますので、季節によって開閉のスピードが異なることがあります。

3-2 ロックツマミの使い方

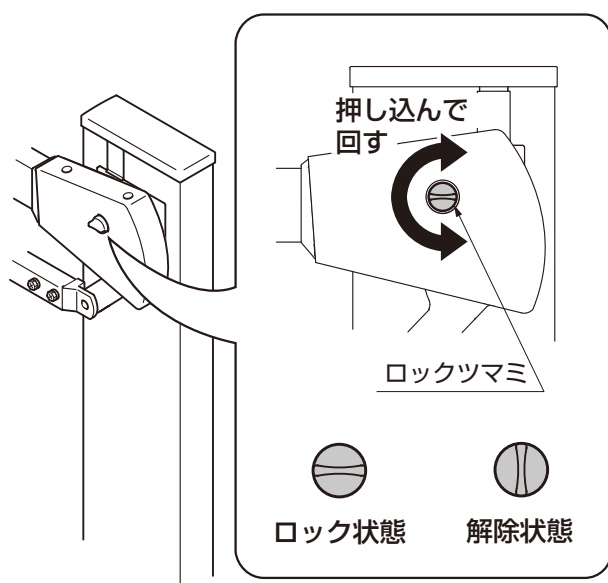
⚠ 注意

- 本品には自動施錠機能はありません。扉を開けた状態でロックツマミをロック状態にし入出庫してください。強風時など扉が下がるおそれがあります。夜間などは安全のため、ロックツマミをロック状態にして扉を固定してください。

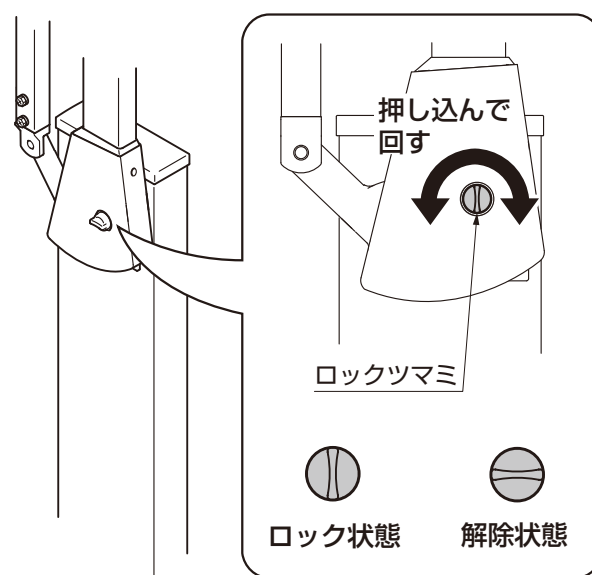
お願い

- このロックツマミは扉を固定するための簡易施錠であり、完全施錠・完全防犯性を有するものではありません。
- 扉の開閉時には必ずロックツマミを「解除状態」にしてください。「ロック状態」のまま開閉しますと、駆動部が破損するおそれがあります。

(1) 扉を閉めた状態の場合



(2) 扉を開けた状態の場合



3-3 ご注意とお願い

⚠ 注意

- 製品の分解や改造は危険ですので、絶対にしないでください。
- 部品に異常や不具合が生じた場合は、むやみな分解や調整をせず、使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。異常作動など故障の原因になり、事故につながるおそれがあります。

4 お手入れについて

(1) 汚れの取り方

- 年に2～3回水洗いをして拭きとってください。
 - a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きしてください。
 - b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

- 支柱には機械部品が内蔵されていますので、直接水道ホースなどで水洗いをしないでください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形、変色したり、塗料がはげることがあります。
- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。

(2) キズの修復

- アルミ部にあやまってキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

5 修理について

(1) 修理を依頼する前に

補足

- 故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。直らなかったときには、修理を依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
扉が動かない	扉軌跡上に障害物などありませんか	障害物を取除いてください。
	ロックツマミがロック状態になっていませんか	ロックツマミを解除してください。 (P.5「ロックツマミの使い方」参照)

(2) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店(工事店)または、「お客さま相談センター」にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電 話 番 号	
施工店名		そ の 他	

- 消耗品は寿命があり、有償修理となります。

6 別売り品

- 下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。
 - ・ロング接地ストッパー：扉下端と地面の間隔が広いときにご利用ください。
 - ・フック棒セット：扉が下ろしにくいときにご利用ください。(P.4「3 使用方法」参照)
 - ・補修塗料：あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。
 - ・ペットガード：扉下端のすきまからペットが外に出ないようにするときにご利用ください。
 - ・把手：扉を閉める際にご利用ください。(アームの両側に取付ける場合)
 - ・補助ロックセット：外出の際に扉本体を外側からロックするときにご利用ください。
 - ・接地ストッパー(補修部品)：先端のゴムが摩耗や劣化した場合に交換してください。

オーバードアS[直昇手動タイプ] 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。
※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話	()

株式会社 LIXIL

〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1

- 保証者**
株式会社LIXIL
- 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のささくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
- ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

会社や商品についての情報の確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00(コールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」(<http://www.lixil.co.jp/privacy/>)をご覧ください。

取説コード

UD111

JZZ621760E
201101A_1039
201804F_1039